



小田病院通信 ホームページ <https://oda-hp.com>

注射については薬剤料の引き下げに

より、ほとんどが数点～数十点少なくなっています。

一度に処方できる湿布薬の枚数がこれまでの70枚限度から63枚限度に変更。これは以前から治療箇所以外での使用が問題視されていたことから、さらなる制限が課せられました。例えば膝の治療で整形外科にかかっている患者様が、今日は腰が痛いから腰にも貼る、今日重い物を持ったら腕、肩が痛いから貼る、といった様な本来の治療箇所以外での使用により必要以上の枚数の処方を求めるのを防ぐためです。医療機関で治療中の疾患以外での使用は保険適応を認めず、ドラッグストア等で自費購入してくださいとのこと。

リフィル処方せんについて報道などでお聞きになったことがあるかもしれませんが、これは医師の判断により発行が認められる処方せんで、初回調剤と合わせて3回まで繰り返し使用しても良いとされているものです。使用が認められない薬剤も存在しますが、要するに同内容の処方であれば2回目、3回目は医療機関で診察を受けずに直接調剤薬局へ行き、薬の処方を受けて良いとするもの。これは今まで無診察での薬の処方を禁止していた厚生労働省が医療費削減のために強引に導入したこともあり、医療現場からすれば矛盾を感じざるを得ません。リフィル処方せんを使用しても医学的責任は発行した医師が持つことになるため、当院ではその都度診察を求めてこれまで通りの処方体制を継続していく方針としています。全ては患者様の健康状態を把握し、少しの変化も見逃さずに適正な治療を行うことが最も重要なことであり、医療サー

(裏面に続きます)

令和4年4月 診療報酬改定

診療報酬とは診療や検査、投薬などの医療サービスの価格のことで、政府が価格を決めており、原則2年ごとに見直されています。

今年改定の年にあたり、年度の替わる4月より新料金での診療となっています。診療報酬がプラス改定となれば医療機関の収入が増えて安定した医療を提供できる反面、患者様の窓口での負担が増えます。逆にマイナス改定となれば患者様の負担は減りますが、医療機関の収入が減り、経営が悪化して十分な医療サービスが提供出来ない医療機関が増えることが懸念されます。今回は診療報酬全体で0.94%の引き下げと、5回連続のマイナス改定でした。個々の医療機関は全ての診療を行えるわけではありません。専門外の診療科、治療行為は必ず存在しますので、医療機関によって収益の増減はこの数字にとどまるわけではありません。当院においても減収は免れない改定となっています。当院患者様に関係があると思われる改定内容を一部触れておきたいと思います。

基本診療の初再診について変更はありません。未だコロナ禍ということで電話による薬の処方現在も特例として認められています。

主に内科診療

採血の点数が一部変更となっています。ほとんどの方が1点少なくなっています。

主に整形外科

ピスとはそうあるべきものと考えるからに他なりません。

多くの患者様に関わると思われる部分を今回は点数の内訳などをあまり細かく記載せず読みやすい、理解しやすい形で報告することに重点を置きました。検査項目などで細く

増減が設けられてはいますが、興味のある方は当院スタッフにお尋ねください。

受付：市村

注：診療点数の1点は10円にあたります。総点数×10が診療費の総額となり、窓口負担額とはその1割～3割になります。

2022年5月診療担当表

	月 2 9 16 23 30	火 10 17 24 31	水 11 18 25	木 12 19 26	金 6 13 20 27	土 7 14 21 28
内科 小児科	平山 茂樹	小田 常人	小田 常人	小田 常人	小田 常人	小田 常人 午後休診
皮膚科		長嶋 慶佳 午前・午後とも 25名様まで				
整形外科	亀岡 尊史			保住 寛 受付時間等 下記参照		
胃腸科		小田 常人	小田 常人		小田 常人	
病棟	平山 茂樹	小田 常人	小田 元彦	小田 元彦	小田 元彦	小田 元彦

受付時間 午前8時 ～ 午前11時30分 午後1時 ～ 午後5時30分
 診療時間 午前8時30分 ～ 午後0時 午後2時 ～ 午後6時
 毎週土曜日は午前だけの診療です。午後は休診となります。

木曜日の 受付時間 午前 休診 午後 1:00 ～ 4:30
 整形外科だけ 診療時間 午前 休診 午後 2:00 ～ 5:00

※ 都合により担当医師・診療時間等は変更することがあります。 ※日曜、祝祭日は休診です。

診察をされる患者様は受付時間内にお越しください。

編集後記

体力低下

候は新緑。木々に新芽が芽吹き、色とりどりの花が咲く時期となりました。コロナウイルス蔓延し早3年。遠出ができない状況続きで、季節の変化が感じづらいなと実感する日々が増えました。

そうした日々でもう一つ痛感しているのが体力の低下です。ちょっとしたことで以前よりも疲れやすくなっていることに気づいた時の絶望感といったらありませんでした。こんなことで疲れを感じてしまうのかと。

外遊びができない状況下で、子どもの体力低下や運動不足に関する問題も表面化してきていると聞きました。庭や広場があれば、多少の運動はできるかもしれませんが、やはり思いっきり遊びまわるわけにもいかないでしょうから、難しさがあります。願わくば、今年の夏は、その季節らしさを体で感じたいなと切に思います。(牧)



オリンピック：第23回ロサンゼルス

アメリカ合衆国。1984年7月28日から8月12日までの16日間開催。この大会は1セントも税金を使わずに行われた。スタジアムも1932年ロサンゼルスオリンピック時のものを使っている。それまでの大会は、スタジアムの建設や環境整備などで開催都市が多額の費用を負担し赤字続きで大きなダメージを残したこともあり1984年大会の開催都市立候補はロサンゼルス市だけ、とオリンピック開催は不人気だった。 出典：ウィキペディア

発行：小田病院広報委員会 藤井

鴨川市横渚880番地

TEL 04-7092-1128

FAX 04-7092-1031

mail : sansikai@lily.ocn.ne.jp

